

## 疫学(臨床)研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科  
発達小児医学

### 【研究課題名】

Turner女性における移行期医療に関する研究

### 【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2020年3月31日

### 【研究の意義・目的】

近年、医療技術の進歩により小児疾患の予後が改善し、先天性疾患や小児期発症の慢性疾患を持ちながらも成人期へ至ることができる症例が増加している。それに伴い小児科領域では「移行期医療」が広く議論されている。成人期特有の病態が顕在化する年代になっても成人期医療の経験が乏しい小児科医がそのまま診療を継続する例も多く、成人科へ移行できた例においても小児科と成人科間の連携不足が問題となることが多い。本研究では染色体異常症の1つであるTurner症候群について調査する。様々な合併症は成人期にも適切な医療介入が必要であり、当院では移行期医療の成功例も経験している。移行期にあるTurner女性の臨床像を調査し問題点を明らかにすることで、より良い移行期医療の一助とすることを目的とする。

### 【研究の方法】

大阪市立大学附属病院受診歴のあるTurner女性のうち、2016年3月31日の段階で移行期年齢(便宜的に中学卒業後とする)に達した症例を抽出し、当院に保管された診療録を後方視的に検討する。検討項目として診断時年齢、診断契機、告知時期、身長・体重、治療内容、診療科、移行時期、臨床検査の内容・頻度・結果、合併症の種類・頻度を予定し、評価・解析する。

### 【研究組織】

研究代表者 濱崎 考史

### 【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 濱崎 考史

住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 発達小児医学

電話 06-6645-3816

FAX 06-6636-8737

E-mail hammer@med.osaka-cu.ac.jp